『ゆうやけ』

もりやま　みやこ　さく
たかみ　やえこ　え

お話の内容

きつねの こ

あたらしい ズボンを はきました。

・いろは、まえのと おなじ あか。
・ひとまわり おおきい。
・ポケットが ふたつも ついて　います。

きつねの こ

「いいな。とっても いい。」

・おがわの みずに すがたを うつして、うっとりしました。
・みずあそびを しようかと おもいましたが、ズボンを よごしたく なったので、やめました。

おひるすぎ
くさはらへ　でかけて　いくと、

・くまの　こ
・うさぎの　こ
にあいました。

・どっちかが、ズボンに　きが　ついて　くれると
いいのにと、おもいました。

きつねの　こ

けれど

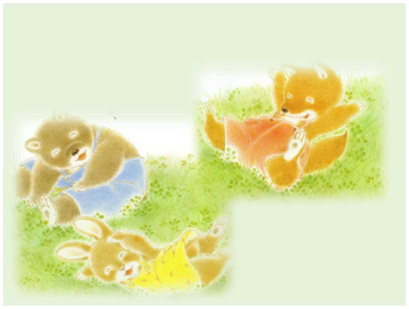
・にひきとも、あそぶ　ことに　むちゅうで、
ズボンには、すこしも　きが　つきませんでした。

（くまの　こと　うさぎの　こ）

なかまいりして　あそぶ　うちに、

きつねの　こも、

・ズボンの　ことを　わすれて　しまい、
ころげまわったり、とびはねたり　しました。



やがて、ゆうがたが　きて、
そらいちめん、
ひのような　ゆうやけが　ひろがりました。

「そらが　まっかだね。」
「きつねくんの　ズボンの　いろだね。」
くまの　こと、
うさぎの　こが、
きつねの　このほうを　みました。
そして、

「あ、その　ズボン。」
「あたらしい　ズボンだね。」
くちぐちに　こえを　あげました。
（くまの　ことと　うさぎの　こ）

「うん、ちょっと　おっきいけど。」
・きつねの　こは、りょうてを　ポケットに
つっこんで、にっこりしました。

「いいよ。とっても　いい。」
くまの　こが　いうと、
うさぎの　こも　うなずきました。

（きつねのこ、くまのこ、うさぎのこ）

さんびきは、ゆうやけの したを、
かたを ならべて かえりました。

ながい かげぼうしが
あとから ついて いきました。

▼いちばん すきな ところは どこですか。
すきな ところを、こえに だして よみましょう。

▼この おはなしには、だれが でて きましたか。

▼さんびきに なったつもりで、つぎの ことばを
こえに だして よみましょう。

「あ、その ズボン。」
「あたらしい ズボンだね。」
「うん、ちょっと おっきいけど。」
「いいよ。とっても いい。」

▼きつねの こと、にて いるなと おもった
ところは ありますか。